

福岡100
何歳でも
チャレンジできる
未来のまちへ

福岡市の高齢者の状況

1 高齢者の人口構成

令和8年8月末現在

区 分	人 口	比 率
福岡市総人口（A）	1, 627, 606 人	—
65歳以上人口（B）	364, 460 人	B / A 22. 4%
75歳以上人口（C）	204, 832 人	C / A 12. 6%

注1） A、B、Cは住民基本台帳登録人口

※参考 令和2年国勢調査による人口構成

区分	総人口（人）	総人口－年齢不詳（人）	65歳以上人口（人）	高齢化率（％）
全 国	126, 146, 099	123, 214, 261	35, 335, 805	28. 7%
福岡県	5, 135, 214	4, 968, 674	1, 395, 142	28. 1%
福岡市	1, 612, 392	1, 534, 201	338, 930	22. 1%

注1） 高齢化率は、総人口から年齢不詳分を除いた人口に占める65歳以上人口の割合

2 福岡市の高齢者人口の推移

（人口単位：千人）

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
総人口	1, 237	1, 285	1, 341	1, 401	1, 464	1, 539	1, 612
65歳以上人口	113	142	178	213	254	312	339
高齢化率	9. 2%	11. 1%	13. 3%	15. 4%	17. 6%	20. 7%	22. 1%

注1） 平成2年～令和2年の人口は、国勢調査による

注2） 人口は、100の位を四捨五入

注3） 高齢化率は、総人口から年齢不詳分を除いた人口に占める65歳以上人口の割合

～ 100歳のみなさまの声 ～

今年度100歳を迎えるみなさまに伺いました！いくつかご紹介します！

Q ご長寿・健康のために意識していることや活動していることはありますか？

A ・朝、昼、晩の3度の食事をきちんと食べる。夜は晩酌をする。

- ・毎日欠かさず歩くこと。
- ・身の回りの事で、出来ることは人に頼らず、自分でする。
- ・新聞を読んでいる。
- ・毎日身だしなみに気を付けている。
- ・毎日肉を食べる。食べたいものを食べただけ食べる。
- ・詩吟を50年以上している。

Q 現在の趣味や生きがいは何ですか。

- A ・生け花、料理、読書、テレビを見る、絵はがき教室。
- ・趣味で手芸をしている。それを友人にあげる事が生きがい。
 - ・テレビでスポーツ観戦。福岡ソフトバンクホークスを応援すること。
 - ・コーヒーを飲みながらおやつを食べることを楽しみにしている。
 - ・カラオケ、コーラス、音楽鑑賞。
 - ・家族(子ども、孫、ひ孫)と会うこと。一緒にご飯を食べたり会話をすること。
 - ・お化粧やおしゃれをする。時々マニキュアをぬってもらうことがうれしい。

みんなで築こう 健康長寿と地域共生社会

令和8年「老人の日・老人週間」キャンペーン要綱

団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年の認知症高齢者数は584万人あまりと推計されており、高齢化の進展により介護や支援を要する方、認知症の方がさらに増加することが見込まれます。

こうしたなか、国民誰もがより長く、元気に活躍でき、全ての世代が安心できる「全世代型社会保障」の実現のため、2040年までに健康寿命を3年以上伸ばし（2016年比）75歳以上とする「健康寿命延伸プラン」が掲げられているほか、認知症基本法に基づく「認知症施策推進基本計画」において、認知症になってからも、できること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという「新しい認知症観」が示されました。

＊令和6年12月（認知症施策推進基本計画）

また、単身世帯の増加に伴い、頼れる身寄りがいない高齢者等の孤立防止や日常生活支援が喫緊の課題であり、こうした人々をも包摂し、誰もが困りごとを抱え込まずにつなげることのできる社会の構築が求められます。

地域での支え合いや医療・介護・福祉の連携促進や災害時の支援体制づくり等においては、高齢者ができる限り住み慣れた地域で生活できるよう、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組みが各地で進められています。また、高齢者だけではなく、子どもや障害者など地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことを目的とした地域共生社会の実現が目指されています。

高齢社会対策基本法に基づく「高齢社会対策大綱」では、基本的考え方として、

- （1）年齢に関わりなく希望に応じて活躍し続けられる経済社会の構築
- （2）一人暮らしの高齢者の増加等の環境変化に適切に対応し、多世代が共に安心して暮らせる社会の構築
- （3）加齢に伴う身体機能・認知機能の変化に対応したきめ細かな施策展開・社会システムの構築

が掲げられています。年齢によって分け隔てられることなく、若年世代から高齢世代までの全ての人々が、それぞれの状況に応じて「支える側」にも「支えられる側」にもなれる社会を目指し、全世代の人々が「超高齢社会」を構成する一員として、希望が持てる未来を切り拓いていくことが必要です。

＊令和6年9月（高齢社会対策大綱）

高齢者やその家族、地域住民がその人らしく、共にいきいきと地域で暮らし続けることができるよう、多世代交流や就労的活動を含めた介護予防や社会参加の場の充実を図ることが打ち出されています。＊令和4年12月（全世代型社会保障構築会議報告書）

こうした状況もふまえ、老人福祉法が定める9月15日の「老人の日」、同月21日までの「老人週間」を契機として、すべての高齢者が安心して暮らせるまちづくり、高齢者の社会参加・ボランティア活動の促進、高齢者の人権の尊重等、6つの目標を掲げ取り組むことを提唱いたします。

キャンペーン期間

令和8年9月15日（老人の日）から21日までの7日間（老人週間）

※ この前後の期間にも運動を展開していくことを提唱いたします（ただし、9月1日～9月末日までとする）。

令和8年

老人の日・老人週間

キャンペーンがめざす

6つの目標

- (1) すべての高齢者が安心して自立した生活ができる、保健・福祉のまちづくりを進め、ふれあいの輪を広げよう。
- (2) 高齢者の知識、経験や能力をいかした、就労・社会参加・ボランティア活動を進めよう。
- (3) 高齢者の生きがい・健康づくり、介護予防等への取り組みを進めよう。
- (4) 高齢者の人権を尊重し、認知症高齢者への支援のあり方や介護問題等をみんなで考え、高齢者や介護者を支える取り組みを積極的に進めよう。
- (5) 高齢社会における家族や地域社会等の役割を理解し、多世代がお互いに協力して安心と活力ある健康長寿社会をつくろう。
- (6) 減災や防災への取り組みに関心を持ち、日頃から地域でのつながりを築こう。

「老人の日・老人週間」の経緯

昭和22（1947）年に兵庫県多可郡野間谷村で行われた敬老行事がきっかけとなり、昭和25（1950）年、9月15日を「としよりの日」としようとする敬老・福祉の県民運動が開始されました。

昭和26（1951）年、中央社会福祉協議会（現：全社協）が全国運動を提唱。9月15日から21日までの1週間を運動週間として、「老人を敬い慰め、励ますとともに、老人福祉に対する国民的理解を促進し、老人自身もまたその立場を自覚し、新しい社会建設に参加する」ことをうたって様々な活動が推進されました。

「としよりの日」は後に「老人の日」を経て昭和41（1966）年に国民の祝日「敬老の日」へと発展しました。そして、平成13（2001）年の老人福祉法の改正により、9月15日が「老人の日」、同月21日までの1週間が「老人週間」と定められました。

なお、「国民の祝日に関する法律」の改正により、平成15（2003）年から「敬老の日」が9月の第3月曜日となりました。

福岡タワー NEWS RELEASE

敬老の日 福岡タワー展望室無料ご招待**2026年9月21日（月・祝）**

福岡タワーでは、9月21日の「敬老の日」にちなみ、65歳以上のお客様を対象に「展望室無料ご招待」を実施いたします。当日は、タワー内店舗をお得にご利用いただける割引クーポンの配布や、展望カフェでは限定スイーツの販売もおこないます。

ぜひ取材いただきますようお願い申し上げます。

1. 日時

2026年9月21日（月・祝）

2. 内容**（1）タワー展望室無料ご招待**

対 象：65歳以上のお客様（年齢を確認できるものをチケットカウンターにてご呈示ください）
＊同伴者の方は1割引で展望できます。

時 間：9:30～22:00（最終入館 21:30）

（2）フォトプロップスの設置

「祝・敬老の日」や、ご家族やご友人との撮影を楽しめる「これからよろしくね」などのフォトプロップスを展望3階フォトスポットに設置します。楽しい記念撮影をお楽しみください。

（3）限定フォトサービスの販売

敬老の日限定のオリジナルフォトフレームが合成された写真を撮ることができます。

時 間：10:00～18:00

場 所：展望3F 南側 有料フォトコーナー（(株)文教スタジオ）

料 金：1,500円（税込）

（4）限定スイーツの販売

敬老の日限定のスイーツプレートをお楽しみいただけます。

時 間：10:00～22:00（最終販売 21:30）

場 所：展望2階「スカイカフェ&ダイニング ルフージュ」

料 金：1,430円（税込）

（5）割引クーポンの配布

タワー内店舗の人気商品・サービスをお得にご利用いただける割引クーポンを配布いたします。

対 象：展望室無料サービス対象の方 ＊お1人につき1枚

場 所：チケットカウンター

＊内容については、タワーHPでご確認ください。

（6）フータくんのグリーティング

福岡タワーのキャラクター「フータくん」との記念撮影をお楽しみいただけます。

時 間：10:00～14:00（毎時00分から20分間）

場 所：1階エントランス



・展望3階フォトスポット



・フォトプロップス（イメージ）



・敬老の日限定スイーツプレート

〔本件についてのお問い合わせ先〕

福岡タワー株式会社 営業課 担当／坂田

TEL：092-823-0234 FAX：092-822-4656 E-mail：sakata@fukuokatower.co.jp

「社会奉仕の日」の実施について

～きれいな地球を子どもたちへ～

1 趣 旨

老人週間を契機に全国一斉「社会奉仕の日」（9月20日）を設定し、老人クラブ参加のもとに「美化活動」や「環境にやさしい活動」に取り組み、地域社会に対する感謝と地域の担い手としての活力を示すとともに、次代によい環境を残そうとするものです。

2 主 唱

公益財団法人 全国老人クラブ連合会 公益社団法人 福岡市老人クラブ連合会

3 実施主体

校区(地区)老人クラブ連合会 単位老人クラブ

4 実施期日

令和8年9月20日(日)を中心とする実施可能な日

5 経 緯

昭和59年 神奈川県・横浜市・川崎市老人クラブ連合会において、9月20日を敬老の日に感謝する「社会奉仕の日」に設定し、一斉奉仕活動を実施

昭和60年 活動が全国10数県に波及

昭和61年 全国老人クラブ連合会において全国三大運動の一つとして一斉奉仕活動（社会奉仕の日）を実施することを決定、全国的に活動が拡大

平成5年 「花のあるまち、ゴミのないまち」をスローガンに採用

平成20年 活動内容に「環境にやさしい活動」を加え、スローガンを「きれいな地球を子どもたちへ」に変更

平成26年 全国三大運動「健康を進める運動」「在宅福祉を支える運動」「老人クラブ『社会奉仕の日』」の推進要綱を統合する。

■令和7年度「社会奉仕の日」実施状況

区 名	クラブ数 ※注意1)	参加クラブ		会員数 ※注意1)	参加会員	
		クラブ数	参加率		会員数	参加率
東 区	111	110	99.1%	4,317	2,170	50.3%
博多区	82	67	81.7%	2,981	1,319	44.2%
中央区	64	63	98.4%	2,102	733	34.9%
南 区	134	97	72.4%	5,179	1,433	27.7%
城南区	47	42	89.4%	1,590	754	47.4%
早良区	72	72	1000.0%	2,971	1,254	42.2%
西 区	60	40	66.7%	2,553	684	26.8%
計	570	491	86.1%	21,693	8,347	38.5%

※注1)クラブ数、会員数は令和7年12月末現在

お問合せ先

公益社団法人福岡市老人クラブ連合会

事務局 活動推進員 江 田

TEL：092-713-1340 FAX：092-713-0157

E-mail：sirouren7@hyu.bbq.jp